

ビジョン  
 ○ 主に難治・慢性疾患の子どもを対象とした医療・保健・療育・福祉サービスの県の中核機関として、高度で良質な医療・ケアの包括的なサービスを提供し、政策医療を推進します。  
 ○ 地域の医療、保健、療育、福祉、教育機関との機能分担・連携を図り、全県的な在宅医療の支援を積極的に行います。  
 ○ 子どもから大人まで切れ目ない医療が提供できる全県的なシステムの構築をめざします。  
 ○ 小児の医療、保健、療育、福祉に携わる専門家の育成、学生教育への協力および臨床研究を通じて、県内の小児保健医療の発展と向上に貢献します。

区分	シナリオ	戦略的目標	主な成果	業績評価指標	H27年度実績	H28年度実績	H29年度実績	H30年度目標値	H31年度目標値	H32年度目標値	主なアクションプラン	
顧客の視点	<p><b>診療体制の充実</b>                      難治・慢性疾患児への質の高い医療サービス・全県型医療の提供</p> <p>政策医療の提供                      子どもから大人まで切れ目ない医療提供システムの構築</p> <p><b>在宅医療支援の充実</b>                      地域の医療機関等との連携強化</p> <p>NICU等の後方支援                      在宅療養の支援</p>	難治・慢性疾患児への質の高い医療サービス・全県型医療の提供	一般医療機関で対応困難な重症障害児への医療的ケアサービスの充実	重症患児数 (※超重症患児数+準超重症患児数)	845人	895人	874人	880人	890人	900人	小-1	人工呼吸器、酸素濃縮器、栄養ポンプのケアが必要な患者への対応
		慢性疾患患者の救急体制強化	慢性疾患患者の時間外受入れ体制の確保	時間外慢性疾患患者救急受入れ応需率 (※患者受入件数/受入依頼件数)	90%	100%	97%	90%	90%	90%	小-2	救急依頼から診療までの業務改善
		政策医療の提供	乳幼児の健全育成の推進	精密健康診断実施数	1150件	1481件	1618件	1500件	1550件	1600件	小-3	県内の心身に障害を有する児の早期発見、障害の早期除去・軽減
		地域の医療機関等との連携強化	病病・病診連携の強化	びわ湖メディカルネット患者登録者数 紹介率 逆紹介率	0件 43.0% 40.63%	51件 44.1% 47.4%	103件 49.0% 48.6%	80件 44.0% 42.0%	100件 44.5% 42.5%	120件 45.0% 43.0%	小-4	びわ湖メディカルネットを活用した連携病院・診療所への患者情報の提供
		地域の療育機関等への支援	地域療育の向上	児童発達支援センター等への派遣回数	139回	95回	135回	140回	140回	140回	小-5	地域への療育技術指導
		在宅療養の支援	適切なレスパイト入院の受入れ	年間受入件数	701件	691件	646件	730件	740件	750件	小-6	レスパイト入院の受入れ
財務の視点	<p><b>経営基盤の安定化</b>                      病床利用率の向上                      財務管理の徹底</p>	病床利用率の向上	病床利用率の向上	病床利用率 新規入院患者数 平均在院日数	75.6% 2186人 11.7日	73.2% 2167人 11.3日	66.2% 2134人 10.3日	76.0% 2055人 12.5日	77.0% 2013人 13.0日	78.0% 1963人 13.5日	小-7	院内全スタッフによる病床利用率、新規入院患者数、平均在院日数のモニタリング
		財務管理の徹底	収支の改善	経常収支比率	103.0%	103.6%	99.9%	98.2%	98.8%	100.2%	小-8	経営状況の院内周知
内部プロセスの視点	<p><b>働きやすい職場環境の整備</b>                      職員満足度の向上                      効率的な職場環境づくり</p>	職員満足度の向上	職員の充実感・達成感の向上	現在の仕事に充実感や達成感を感じている職員の率(肯定的回答率)	65.8%	72.2%	72.6%	76.0%	78.0%	80.0%	小-9	職員満足度調査結果の病院運営への反映
		効率的な職場環境づくり	ワークライフバランスの実現	職員一人あたりの時間外勤務時間数	15.4h	15.2h	16.5h	14.6h	14.3h	14.0h	小-10	業務の改善
学習と成長の視点	<p><b>専門的人材の確保・育成</b>                      専門的人材の確保                      研究活動への支援</p>	臨床研究活動への支援	学会活動・論文発表活動の活性化	論文発表数	19本	23本	20本	26本	28本	30本	小-11	論文発表費用補助
		教育の充実	専門研修の充実	専門研修派遣者数	146人	276人	306人	154人	157人	160人	小-12	専門研修の派遣支援